



zLog 令和Edition

V2.9.3.5

RELEASE NOTE

2025/03/28
JR8PPG

フィードバック時のお願い（ML参加者向け）

- 不具合は再現手順を具体的に連絡して下さい。
- 改善要望は具体的に「こう言う文言ならわかりやすい」とか「ここがこう言う操作なら使い勝手が良い」と案を出してもらえると助かります。
- フィードバックはzlog-reiwa@cq-test.netへ

zLog令和Edition 2.9.3.x

バージョン 2.9.2.8からの修正内容です。

※前回から変更のあったページは**UPDATE**の表記があります

バージョン2.9.3.Xでの主な変更点

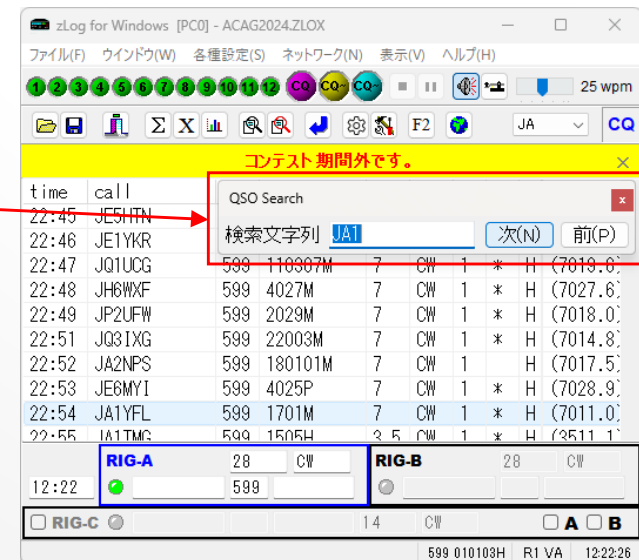
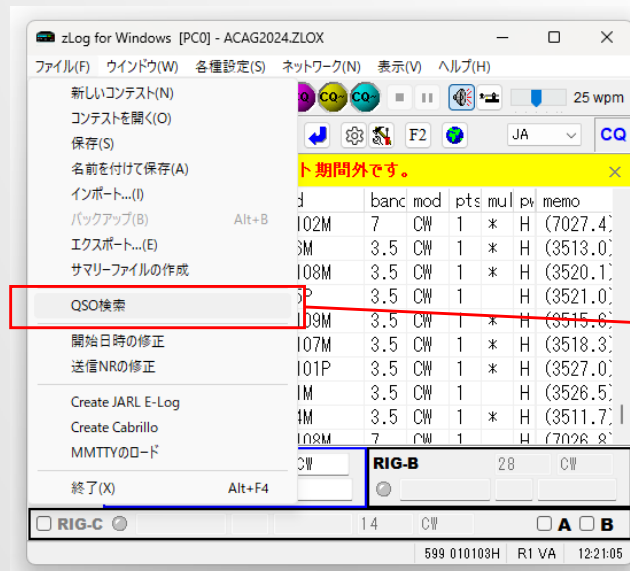
- Enterキーモードの追加
- OTRSP対応
- CW Keyboardの送信進捗表示
- バンドスコープの改良
- F2A対応機能の改良（サウンドデバイスをリグ毎に設定）
- ハムサポとのデータ連係
- RBN連携
- 不具合修正

New Feature

#519

検索機能の追加

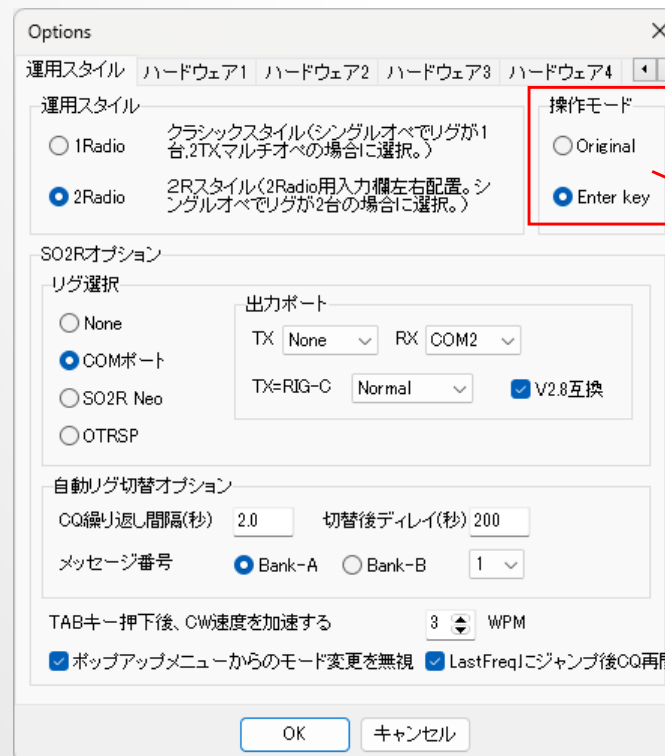
- 交信リストをコールサイン, 受信NR, memo欄を検索し、マッチしたQSOをハイライトします。
- 「次」ボタンで次々と検索します。



#608

Enterキーモードの追加 (1) (2.9.3.3)

- Enterキーで操作を行う、いわゆるESMモードです。
- Enterキーモードでも従来操作は可能です。
- DXPedいやマルチの無いコンテストでの動作を改善しました。(2.9.3.3)
- ショートカット#163での動作を改善しました。(2.9.3.4)



#608

Enterキーモードの追加（２）

- フォーカス位置と入力の有無によってEnterキー押下時の動作が異なります。

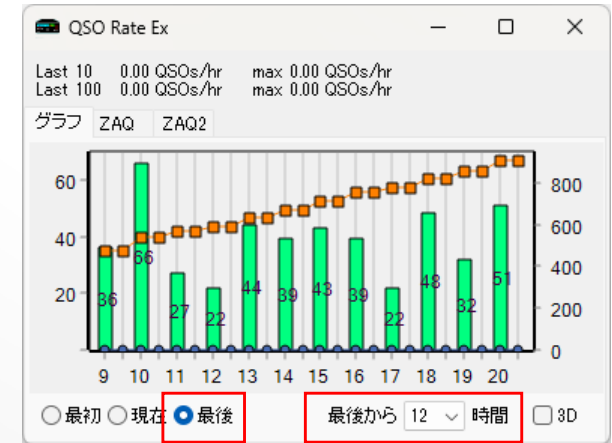
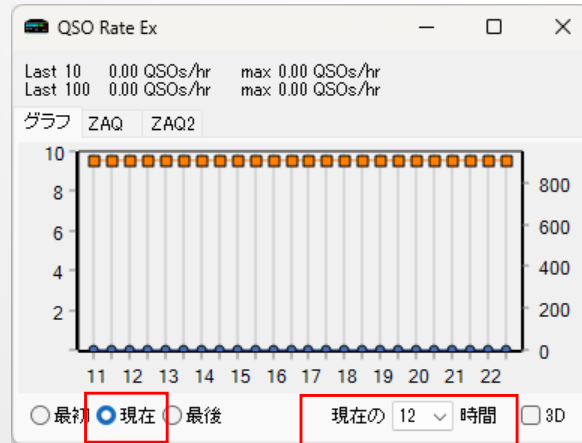
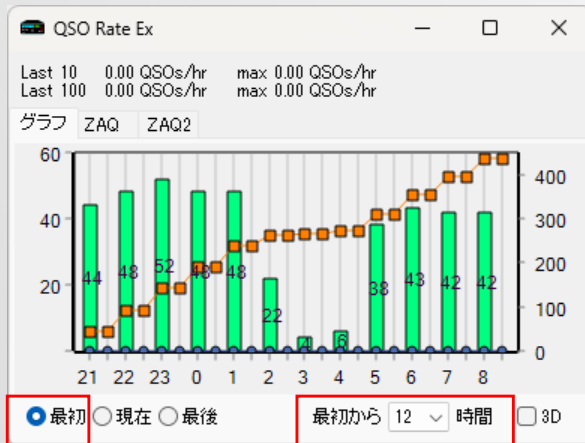
CQ/S&P	フォーカス位置	入力有無	Enterキー押下時の動作	備考
CQ	コールサイン	なし	F1(CQ)送信	
		あり	F2(\$C 5NN\$X)送信後、NR入力へ	TABキーと同じ
	ナンバー	なし	F5(NR?)送信	
		あり	F3(TU \$M TEST)送信とロギング	↓キーと同じ
S&P	コールサイン	なし	F7(MY CALL)送信	
		あり	F7(MY CALL)送信	DUPE時は何もしない
	ナンバー	なし	F5(NR?)送信	
		あり	F8(5NN\$X)送信とロギング	

BUG FIX

#631

QSO Rateグラフの「最後からnn時間」表記の改善

- グラフの表示が「最初」「現在」「最後」のいずれでも「最後からnn時間」ではおかしいので修正しました。

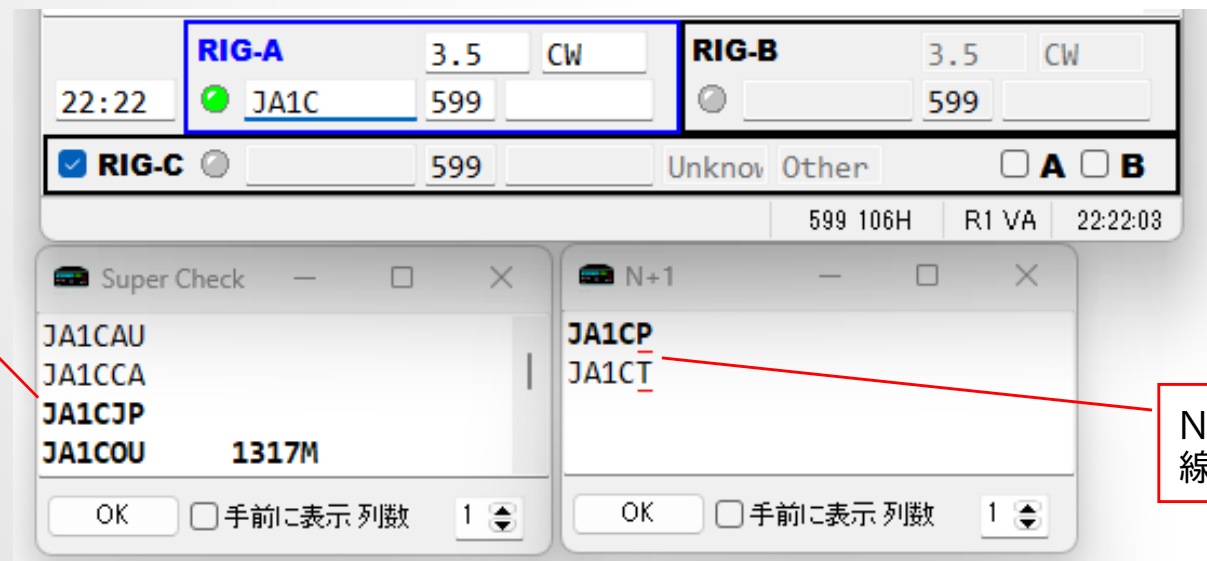


New Feature

#632

RBN連携機能 (1) (2.9.3.1)(2.9.3.2)

- SuperCheck/N+1において、受信したRBNのコールサインはQRVがあった局として別の表示をします。
- RBNへの出現情報はバンド別に管理します。(2.9.3.2)



太字はRBNにレポートがあったコール(QRVが確認されている)

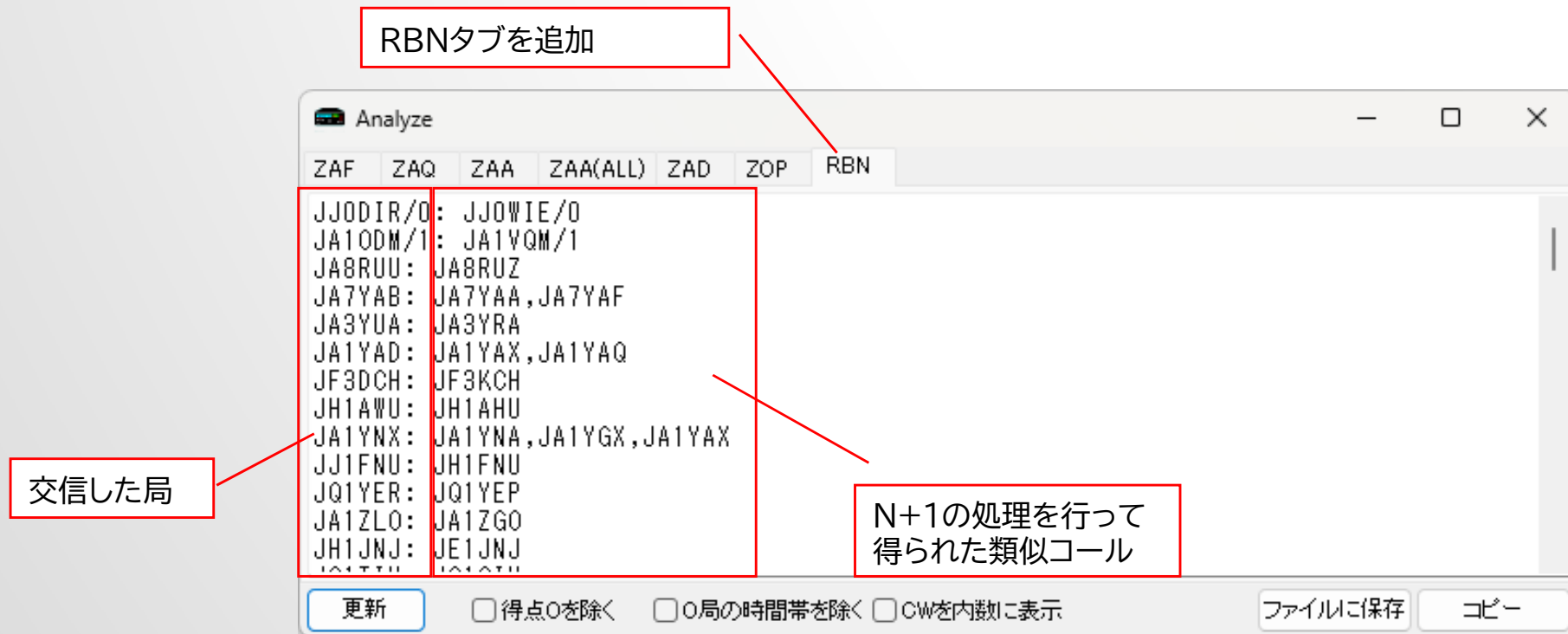
N+1にて相違箇所の下線表示を追加

New Feature

#632

RBN連携機能（2）(2.9.3.1)

- 分析機能で交信局を受信したRBNのコールサインとN+1の処理を行い、照合結果リストを出力します。

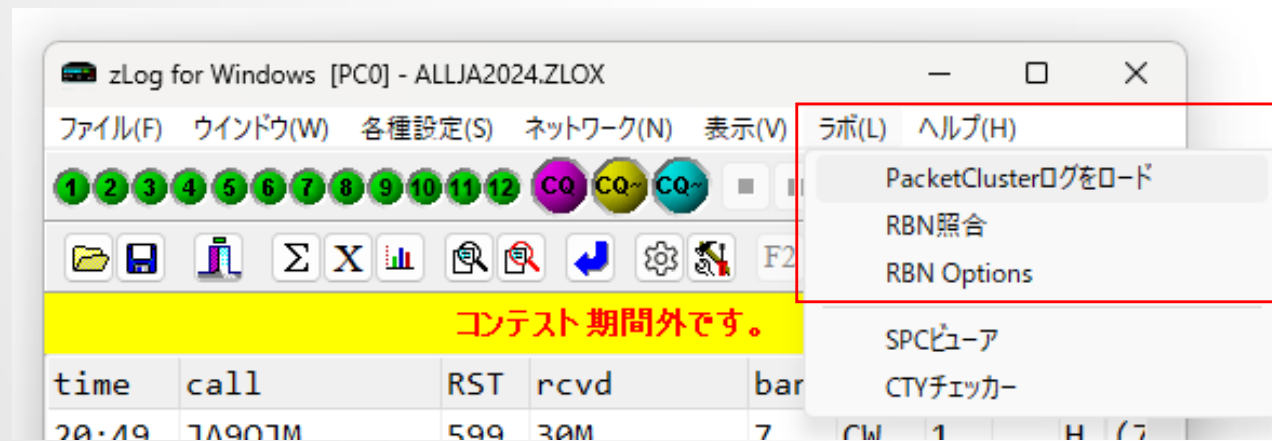


New Feature

#632

RBN連携機能（3）(2.9.3.1)

- 後でRBN情報としてPacketClusterログをロードできます。
- 一括でRBN情報と(再)照合できます。

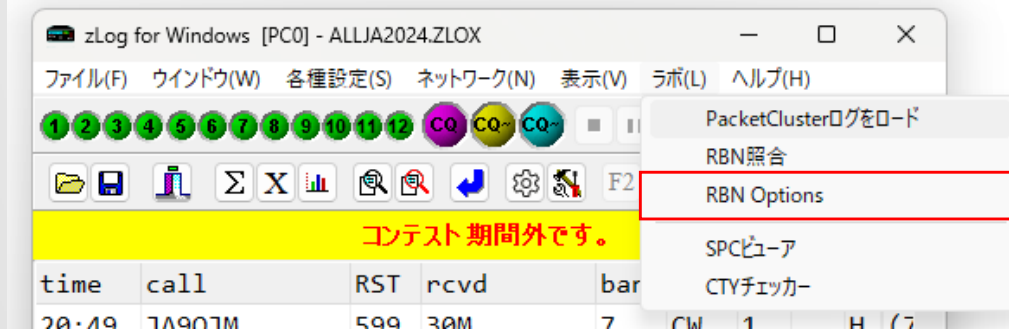


New Feature

#632

RBN連携機能（４）(2.9.3.1)

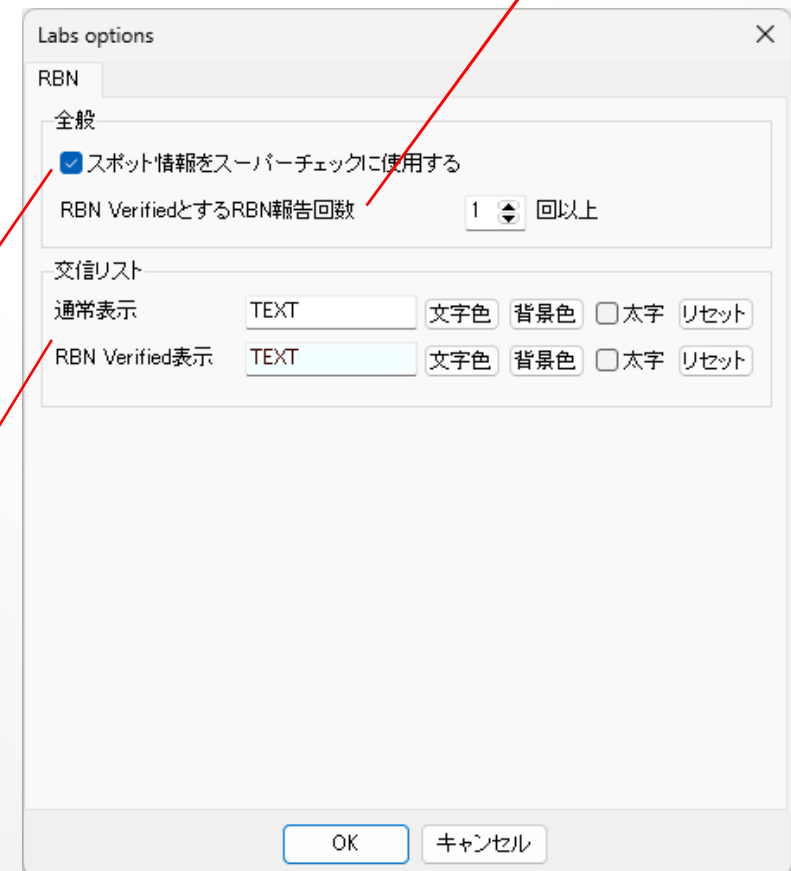
➤ RBN連携機能の設定画面です。



チェックONでスポット情報をスーパーチェックに利用します
性能面でどれだけの影響がでるかは未知数...

交信リストの表示色設定です

RBN照合OKとする、報告回数
です。これは複数回数の報告を
持ってQRVがあったとするため、
2回以上がおすすめです



New Feature

#632

RBN連携機能（5）(2.9.3.1)

➤ 交信リストの表示色を変更可能としました。

背景が水色はRBN照合OKの
交信です(例)

zLog for Windows [PC0] - ALLJA2024.ZLOX

ファイル(F) ウィンドウ(W) 各種設定(S) ネットワーク(N) 表示(V) ラボ(L) ヘルプ(H)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 Co Co Co 25 wpm

SP

コンテスト 期間外です。

time	call	RST	rcvd	band	mod	pts	mul	pw	me
20:49	JA9OJM	599	30M	7	CW	1		H	(7
20:50	JI3CJP/3	599	23M	7	CW	1		H	(7
20:53	JA2KVB	599	18M	3.5	CW	1		H	(3
20:54	JI4WHS	599	35M	3.5	CW	1		H	(3
20:56	JM6CIP	599	45M	3.5	CW	1	45	H	(3
20:57	JA0IOF	599	09H	3.5	CW	1		H	(3
20:58	JK1FNL	599	11H	3.5	CW	1		H	(3
20:59	JG1CFO	599	12M	3.5	CW	1		H	(3

22:39 RIG-A 3.5 CW RIG-B 3.5 CW

JA1C 599

☒ RIG-C ☐ 599 Unknow Other ☐ A ☐ B

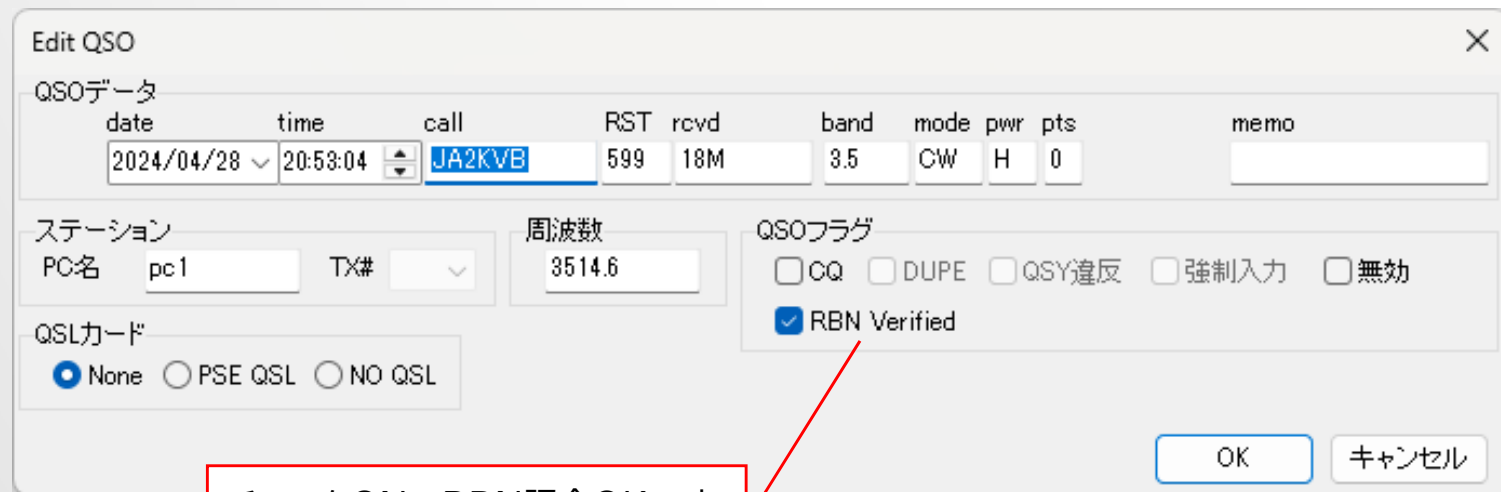
599 106H R1 VA 22:39:30

New Feature

#632

RBN連携機能（6）(2.9.3.1)

➤ QSOEditウィンドウにも項目を追加しました。



The screenshot shows the 'Edit QSO' dialog box with the following fields and options:

- QSOデータ**
 - date: 2024/04/28
 - time: 20:53:04
 - call: JA2KVB
 - RST: 599
 - rcvd: 18M
 - band: 3.5
 - mode: CW
 - pwr: H
 - pts: 0
 - memo: (empty)
- ステーション**
 - PC名: pc1
 - TX#: (dropdown)
 - 周波数: 3514.6
- QSLカード**
 - ☒ None
 - ☐ PSE QSL
 - ☐ NO QSL
- QSOフラグ**
 - ☐ CQ
 - ☐ DUPE
 - ☐ QSY違反
 - ☐ 強制入力
 - ☐ 無効
 - ☒ RBN Verified

Buttons: OK, キャンセル

チェックONでRBN照合OKです

New Feature

#632

RBN連携機能（7）(2.9.3.1)

➤ zLog CSVにてRBN照合フラグも出力します。

AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI
Freq	QsyViolatio	PCName	Forced	QslState	Invalid	Area	RBN Verified	
7113	FALSE	pc1	TRUE	1	TRUE	1	FALSE	
7113	FALSE	pc1	TRUE	1	TRUE	0	FALSE	
7113	FALSE	pc1	TRUE	1	TRUE	1	FALSE	
7113	FALSE	pc1	TRUE	1	TRUE	2	FALSE	
7113	FALSE	pc1	TRUE	1	TRUE	6	FALSE	
7113	FALSE	pc1	TRUE	1	TRUE	6	FALSE	
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	8	FALSE	
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	2	FALSE	
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	0	FALSE	
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	1	FALSE	
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	7	FALSE	
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	3	TRUE	
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	6	FALSE	
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	8	FALSE	
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	1	FALSE	

RBN Verified
TRUE:RBN照合OK
FALSE:RBN照合NG

#634

1Radio時での使用可能リグ台数の拡大

- 1Radio時でも4台のリグを設定可能としました。
- SHIFT+X押下時はRIG-1～RIG-4を順次切り替えます。
- アンテナ端子の切り替え機能はRIG-1/RIG-2のみ作動します。

#648

CW Keyboardでも送信の進捗をしりたい(2.9.3.2)

- 送信に合わせて背景に色が付くようにしました。
- サイドトーンが聞こえないリモート運用等で有効とのことです。
- 全部送信した後は、画面で設定の時間経過後クリアされます。
- メインウィンドウでCW送信中に、このウィンドウをアクティブにするとzLogが異常終了する不具合を修正しました。(2.9.3.2)


送信に合わせて色が付く



この時間経過後画面クリア

#656 OTRSP対応（１）

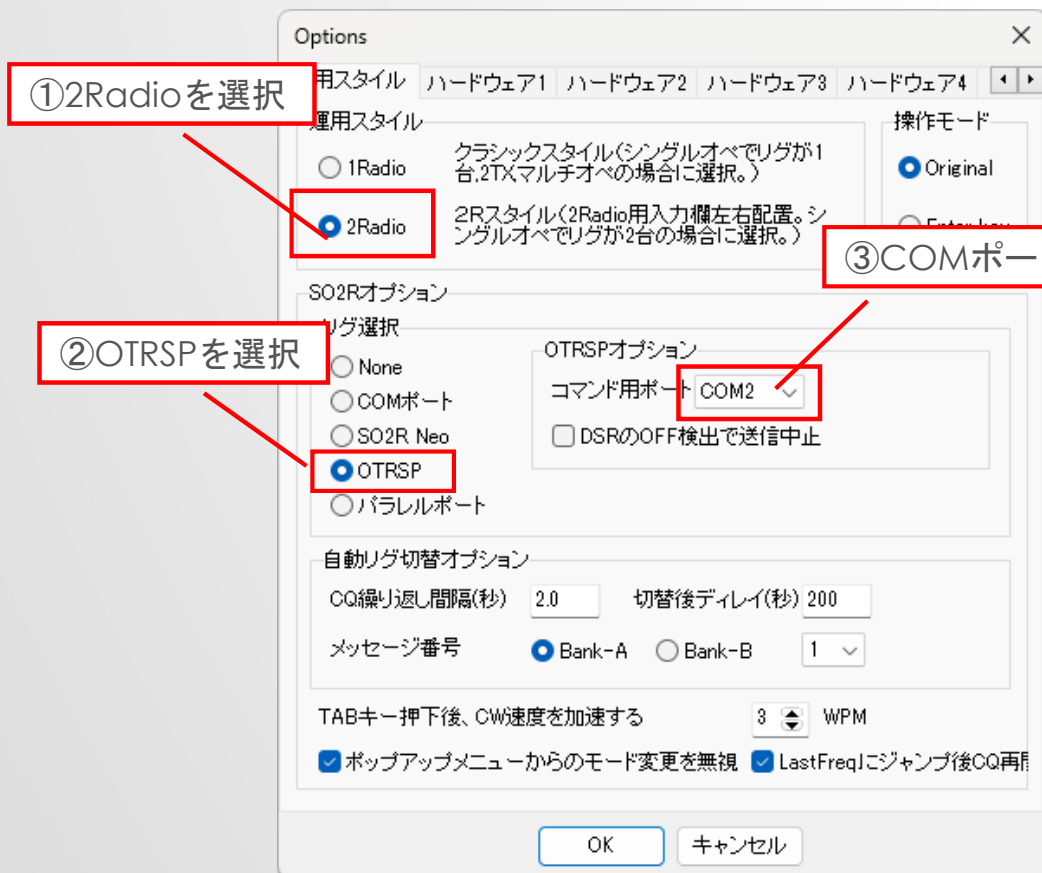
- 標準とされるSO2Rの切替BOX仕様に対応しました。
Open Two Radio Switching Protocol (OTRSP)
<https://www.k1xm.org/OTRSP/>
https://www.k1xm.org/OTRSP/OTRSP_Protocol.pdf
- 実装コマンドはTX,RX,AUXです。
- 送信RIG切替時は、TX1<CR> または TX2<CR> が送出されます。
- 受信RIG切替時は、RX1<CR> または RX2<CR> が送出されます。
- バンド切替時は設定に従って、AUXコマンドが送出されます。（N1MMと同じ）
 - ・ 書式：ANT<RIGNO><ANTNO><CR>
 - ・ RIGNOは 1 桁、ANTNOは 2 桁、<CR>は0x0D
 - ・ ANT未指定時・・・AUX100<CR> 又は AUX200<CR>
 - ・ ANT1指定時・・・AUX101<CR> 又は AUX201<CR>
- 通信条件：9600bps,ストップビット1,パリティ無し,フロー制御無し
(RTS/CTSはOFF固定) CW(RTS/DTR)重畳可



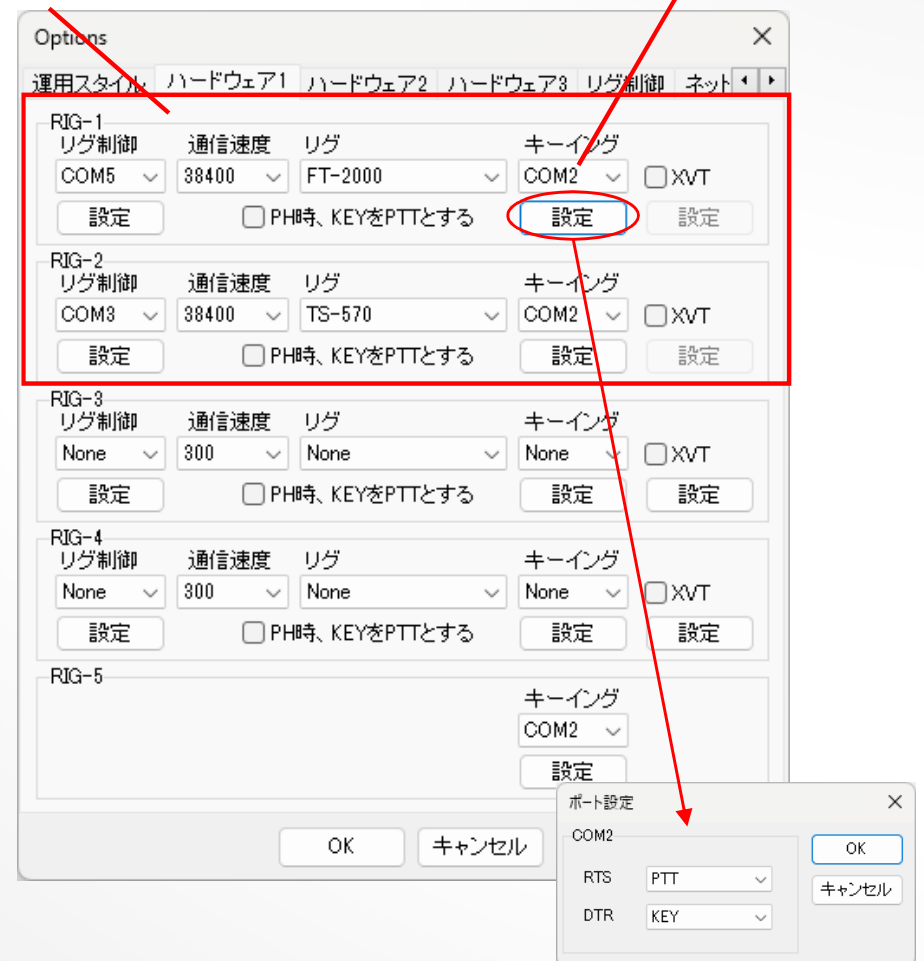
N1MMで使用できるOTRSP機器は使えると思います。

New Feature

#656 OTRSP対応 (2)



④RIG-1/RIG2を設定



New Feature

#656 OTRSP対応（3）

Options

運用スタイル ハードウェア1 ハードウェア2 ハードウェア3 リグ制御 ネット

RIG-Aへのリグ割当			RIG-Bへのリグ割当		
	リグ	アンテナ		リグ	アンテナ
1.9 MHz	RIG-1	ANT1	1.9 MHz	RIG-2	ANT1
3.5 MHz	RIG-1	ANT1	3.5 MHz	RIG-2	ANT1
7 MHz	RIG-1	ANT1	7 MHz	RIG-2	ANT1
10 MHz	RIG-1	ANT1	10 MHz	RIG-2	ANT1
14 MHz	RIG-1	ANT1	14 MHz	RIG-2	ANT1
18 MHz	RIG-1	ANT1	18 MHz	RIG-2	ANT1
21 MHz	RIG-1	ANT2	21 MHz	RIG-2	ANT1
24 MHz	RIG-1	ANT2	24 MHz	RIG-2	ANT1
28 MHz	RIG-1	ANT2	28 MHz	RIG-2	ANT1
50 MHz	RIG-1	ANT3	50 MHz	RIG-2	None
144 MHz	RIG-1	ANT4	144 MHz	RIG-2	None
430 MHz	RIG-1	ANT4	430 MHz	RIG-2	None
1200 MHz	RIG-1	ANT4	1200 MHz	RIG-2	None
2400 MHz	RIG-1	ANT4	2400 MHz	RIG-2	None
5600 MHz	RIG-1	ANT4	5600 MHz	RIG-2	None
10 G & up	RIG-1	ANT4	10 G & up	RIG-2	None

OK キャンセル

⑥AUXコマンドはこのアンテナ設定に従って送出されます。

例)

RIG-AのANT1は、AUX101

RIG-AのANT3は、AUX103

RIG-BのNoneは、AUX200

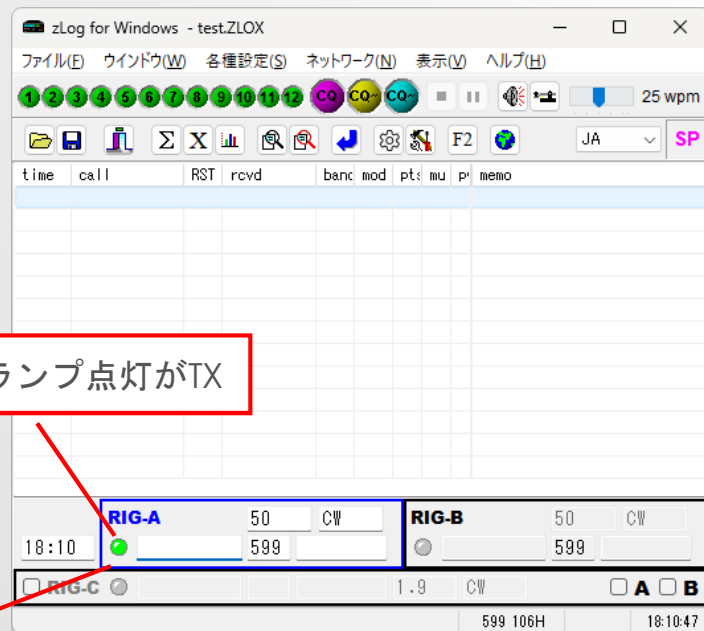
RIG-BのANT1は、AUX201

JG0LGQ北沢OMが制作中の
SO2R切替BOXに対応します。

New Feature

#656 OTRSP対応 (4)

TX:RIG-A, RX:RIG-A

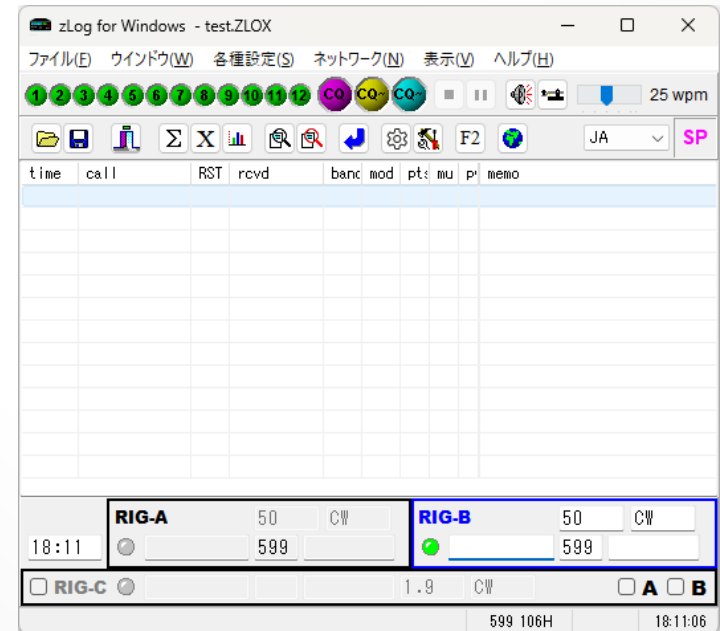


送出コマンド
RX1<CR>
AUX100<CR>
TX1<CR>

TX/RX切替
SHIFT+X



TX:RIG-B, RX:RIG-B

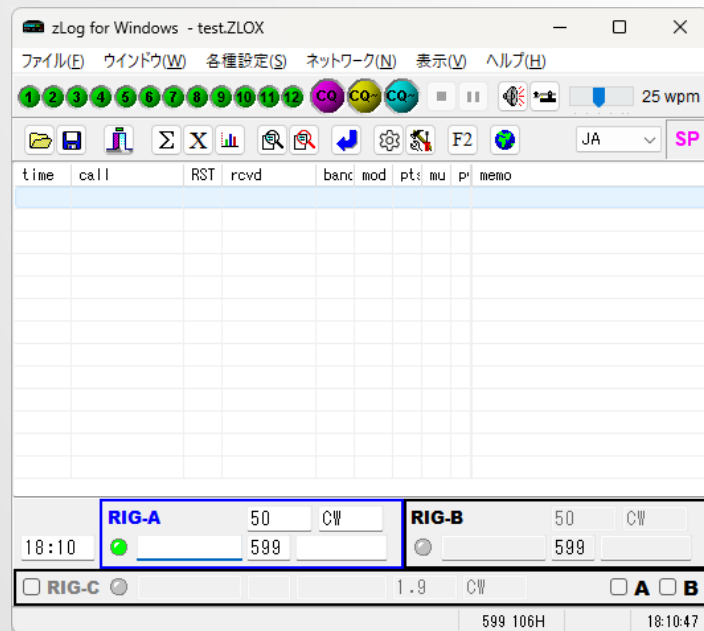


送出コマンド
RX2<CR>
AUX200<CR>
TX2<CR>

New Feature

#656 OTRSP対応 (5)

TX:RIG-A, RX:RIG-A

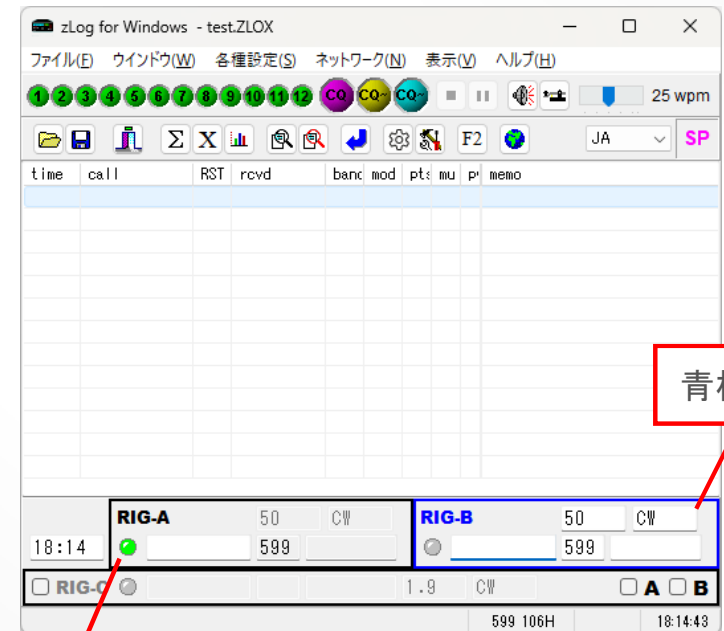


送出コマンド
RX1<CR>

RX切替
SHIFT+C



TX:RIG-A, RX:RIG-B



青枠がRX

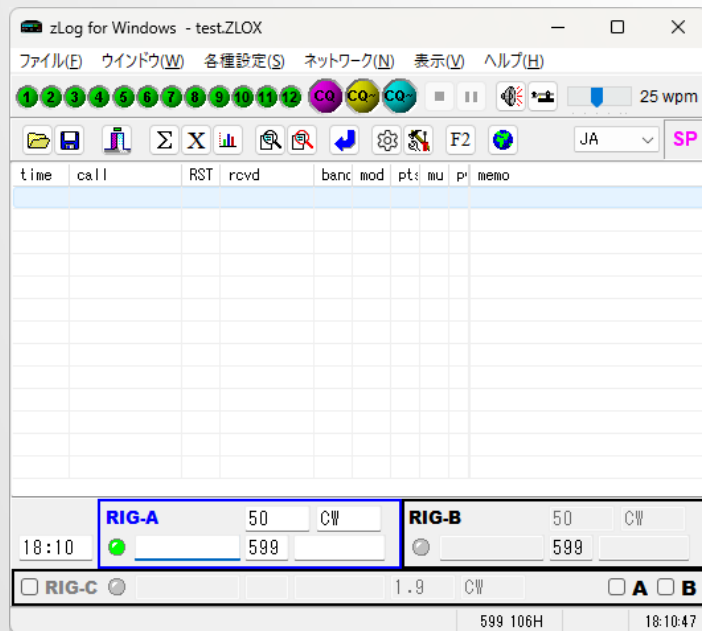
グリーンのランプ点灯がTX

送出コマンド
RX2<CR>

New Feature

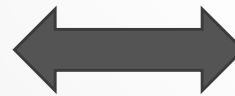
#656 OTRSP対応 (6)

TX:RIG-A, RX:RIG-A

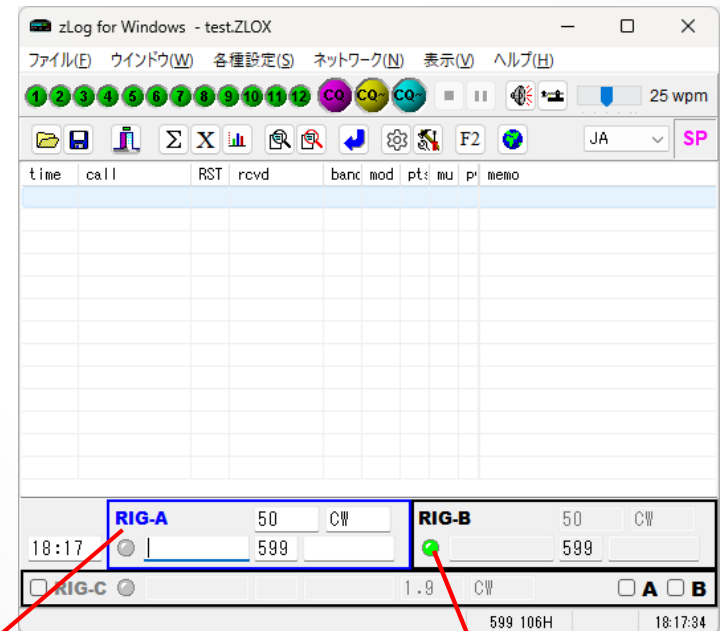


送出コマンド
TX1<CR>

TX切替
SHIFT+V



TX:RIG-B, RX:RIG-A



青枠がRX

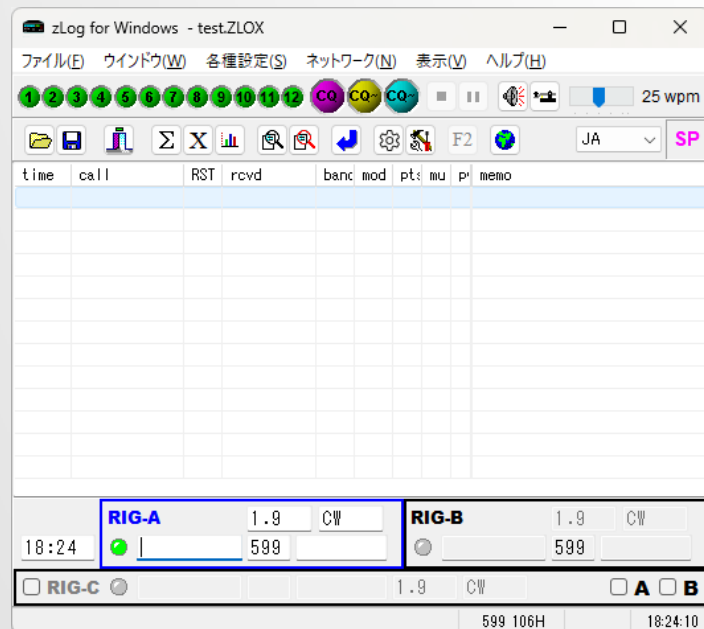
送出コマンド
TX2<CR>

グリーンのランプ点灯がTX

New Feature

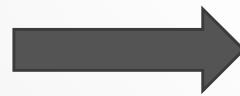
#656 OTRSP対応 (7)

TX:RIG-A, RX:RIG-A

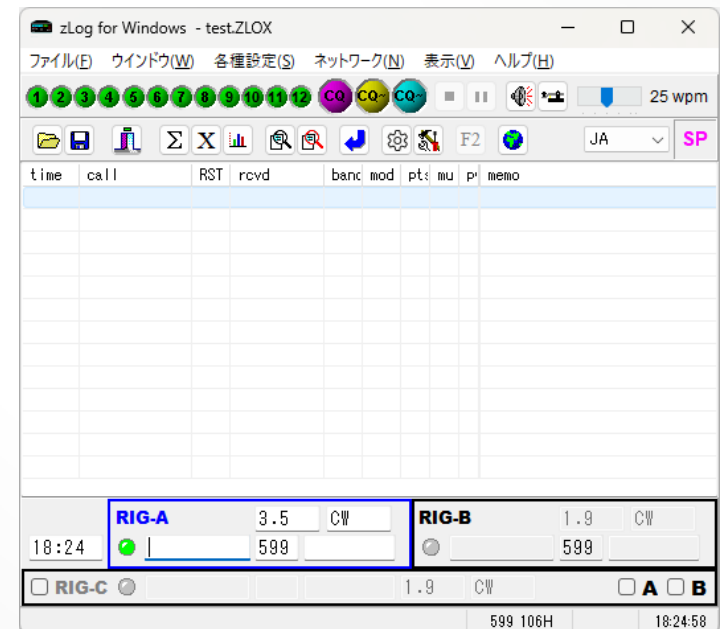


送出コマンド
RX1<CR>
AUX101<CR>
TX1<CR>

バンド切替
SHIFT+B



TX:RIG-B, RX:RIG-A

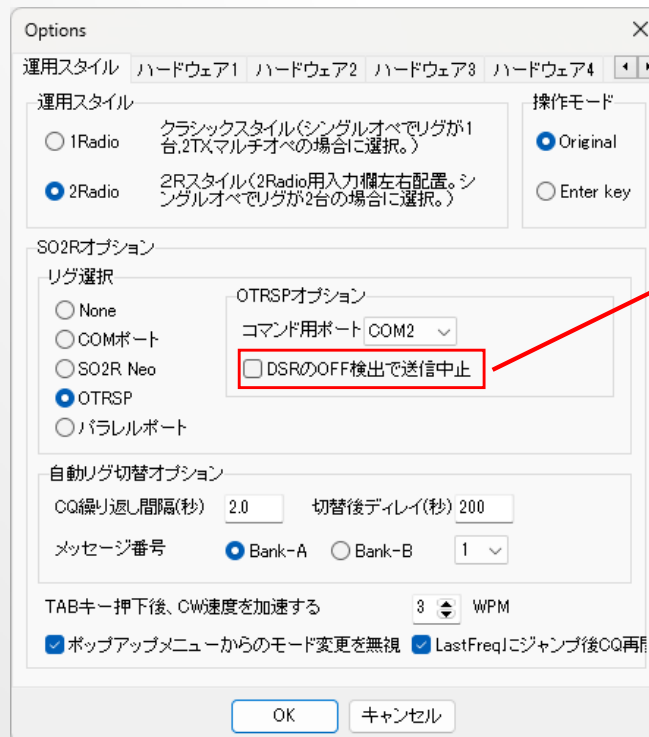


送出コマンド
RX1<CR>
AUX102<CR>
TX1<CR>

New Feature

#656 OTRSP対応（8）

- リグ側でバンド切替を行った場合、AUXコマンドを送出します。
- COMポートキーイング時、DSR信号がOFFでキーイングを停止するオプションを追加しました。



#659

マルチTXの拡張

- マルチTXのTX番号が0-9で10TXでした。これでは足りないため、0-15の16TXまでに拡張しました。

#678

シリアル番号の発番管理方法の改善

- シリアルNO方式コンテストについて発番方法の改善。
- 主にPHONE時に、zLogが発番する番号と違う番号を誤って送った場合に番号に食い違いがおきる。
- 現在
 - 番号管理用の変数を使って、管理番号 + 1 を次のQSOのシリアルナンバーとしているが、ZLOファイルロード時(次回起動時)は最終QSOのシリアルナンバー + 1 としている。
- 改善
 - 常に最終QSOのシリアルナンバー + 1 を次のQSOのシリアルナンバーとした。

Improvement

#683 #717 バンドスコープの改良（１）

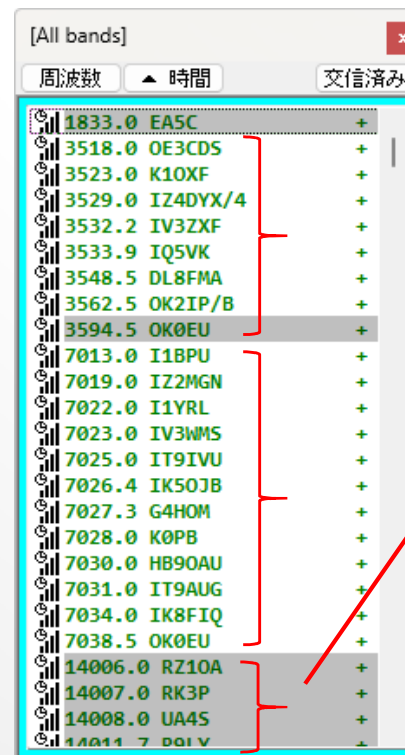
- #683 バンドスコープの[VFO同期][中央固定]がわかりにくいというご指摘。
- #717 All bandsのウィンドウでは全バンドのスポットが出ているので、現在バンドは良いが他のバンドを見るのが大変とのご指摘。

#683



わかりにくい

#717

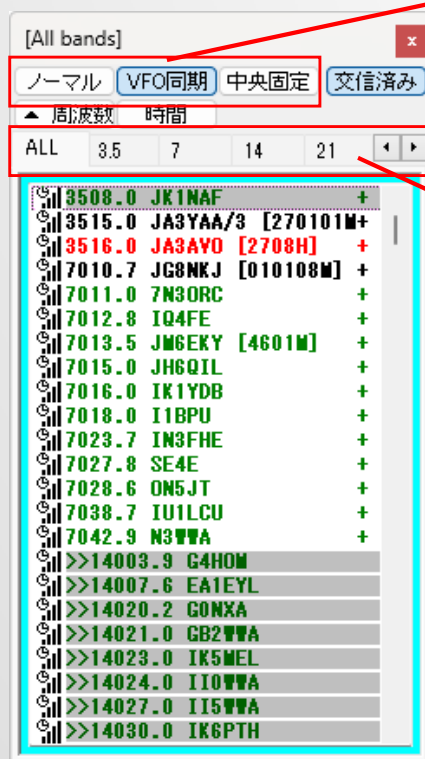


下の方になるバンド(スポット)を見るのが大変

Improvement

#683 #717 バンドスコープの改良（２）

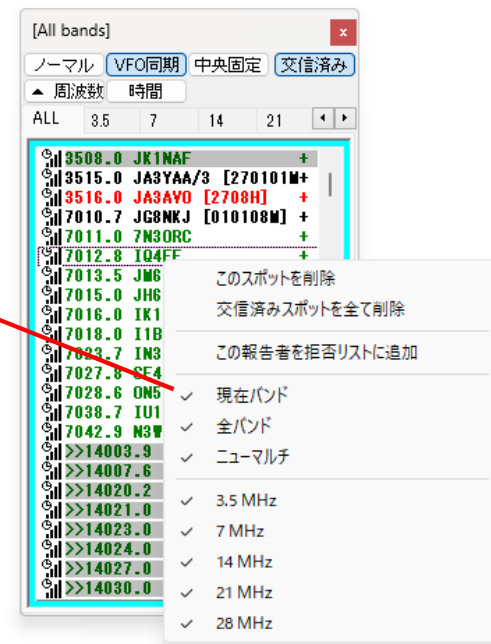
- [ノーマル]・・・VFO非連動
- [VFO同期]・・・VFOに合わせてスクロール
- [中央固定]・・・VFO位置をウインドウの中央に固定して表示



[ノーマル][VFO同期]
[中央固定]の3択に変更

バンド別のタブを追加

右クリックメニューで各ウ
ィンドウを個別に表示／非
表示とできるようにした



#683 #717 バンドスコープの改良（3）

➤ 従来操作との対比は下記の通りです。

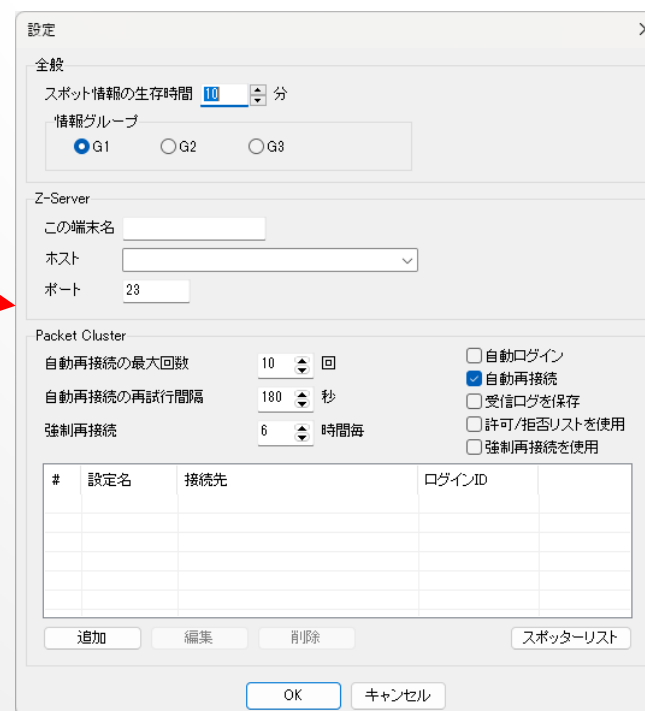
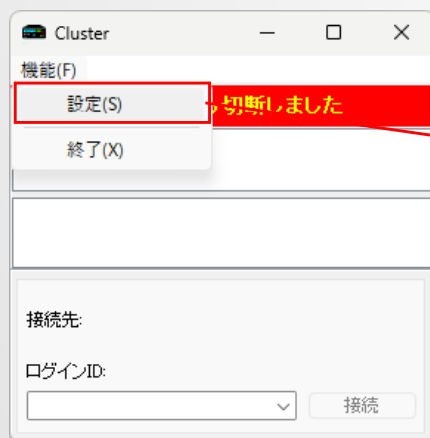
動作	改良後の操作			改良前の操作	
	[ノーマル]	[VFO同期]	[中央固定]	[VFO同期]	[中央固定]
ノーマル表示 VFOの動きには連動しない	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
VFO同期表示 VFOに合わせてスクロール	OFF	ON	OFF	ON	OFF
中央固定表示 VFO位置をウインドウの中央に固定して表示	OFF	OFF	ON	ON	ON

Improvement

#690

ZLOG TELNETも登録リストから選択できるようにしてほしい

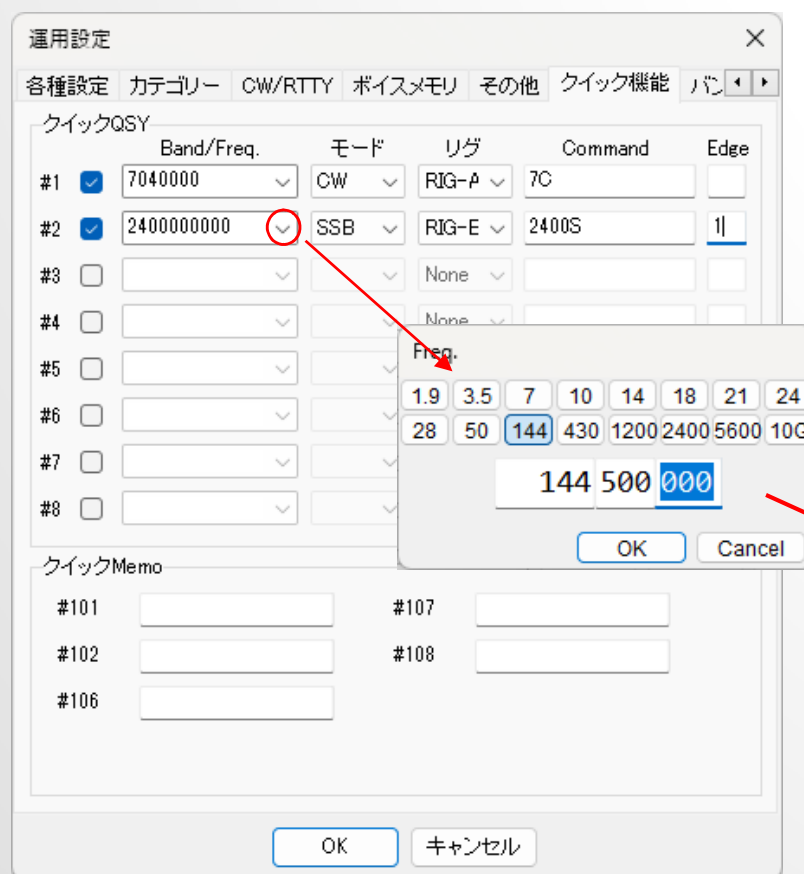
➤ zLog本体と同様の設定を追加しました。



#699

クイックQSYとコンソールコマンドQSYの統合

- 類似機能となるクイックQSYと#672でのコンソールコマンドQSYを統合しました。#672の説明を次ページに掲載。



- QSY先の設定を画面で行えるようにした
- 元のクイックQSY機能によりショートカットキーも使用可能
- 周波数入力を簡便にするために補助ウインドウを作ってみた

周波数入力ウインドウ

#672

コンソールコマンドでの周波数プリセットへのQSY(2.9.2.2)

- 予めプリセットしておいた周波数・モードへコンソールコマンドでQSYします。
- IC-705/905/9700ではFIXエッジの選択が可能です。(2.9.2.2)

予めコマンドと周波数・バンドを設定したファイル
zlog_freqmem.txt

```
コマンド, 周波数, モード, FIXエッジ  
50S, 50350000, SSB  
50C, 50050000, CW  
144S, 144250000, SSB  
144C, 144050000, CW  
430S, 432500000, SSB, 1  
430C, 430050000, CW, 2
```

コールサイン欄に、”,50C”と入力すると 50.050kHz CWへQSYします。

IC-705/905/9700の場合は、予め登録してあるスペクトラムスコープのFIXエッジ(上限／下限周波数)を選択できます。FIXエッジは各機種とも各バンド4パターン登録できます。上記ファイルの4項目目に番号を記述することで、QSY時にFIXエッジ選択コマンドをリグに送出します。(項目無し又は0の場合は送出しません)
これはモードによって占有周波数が異なるためスペクトラムスコープの表示幅を変更したいという要望に対応するものです。

#700

スペースキー押下時の動作改善(2.9.3.1)

➤ 現状

- ① コールサイン入力
- ② スペースキー押下（又はタブキー）
- ③ 過去QSO（他バンドのQSO）があればNRを転記
- ④ コール欄に戻り訂正
- ⑤ スペースキー押下（又はタブキー）
- ⑥ すでにNR欄には何か入力済みなので、過去QSO（他バンドのQSO）からのNR転記をしない

➤ 改善

- 上記の⑥で、訂正したコールサインに過去QSO（他バンドのQSO）があればNRを転記するようにした
- MLにて指摘のあった不具合を修正しました。(2.9.3.1)

New Feature

#703

ハムサポとのデータ連携（1）

- iPhoneアプリの「HAM交信サポート」との相互のデータ交換を可能としました。

<https://apps.apple.com/jp/app/ham%E4%BA%A4%E4%BF%A1%E3%82%B5%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88/id6645736263>



HAM交信サポート [4+]

ログ取り、無線局検索、QSL管理全て、ハムってサポート！

Yuri HARUNA

iPhone対応

★★★★ 5.0・4件の評価

無料・アプリ内課金があります

iPhoneスクリーンショット

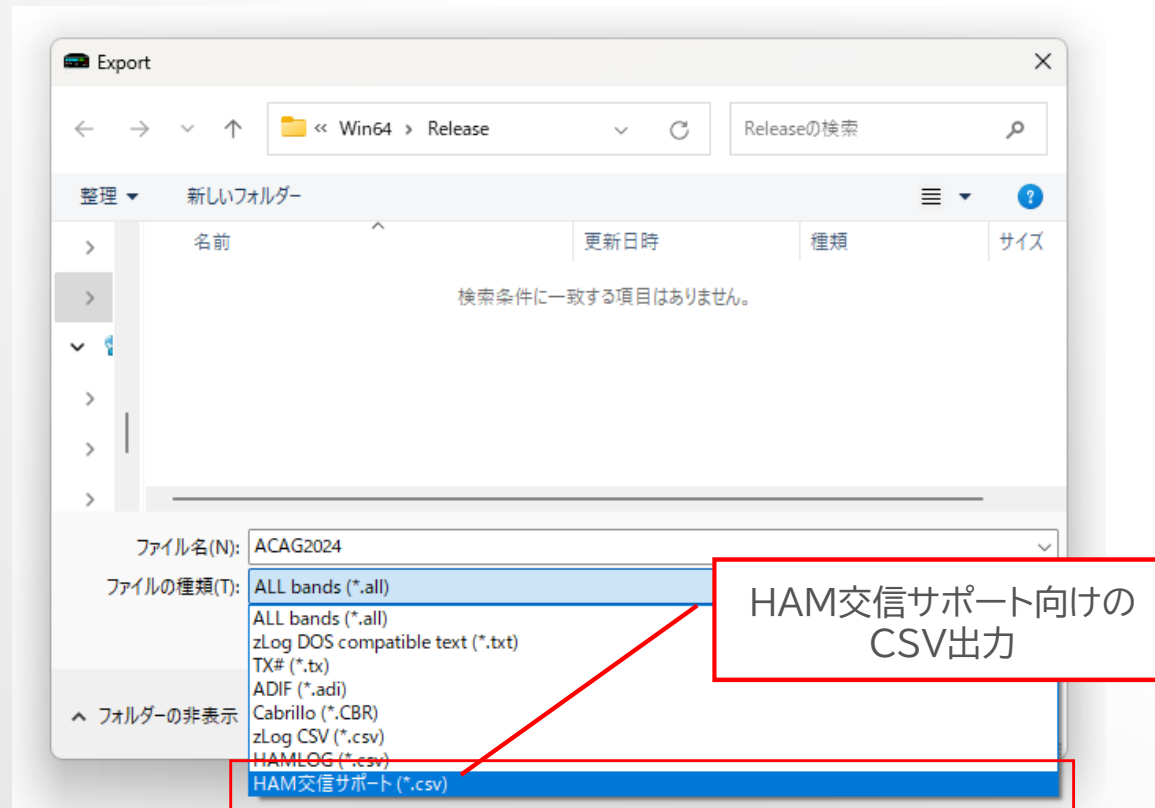


New Feature

#703

ハムサポとのデータ連携（２）

- zLogからHAM交信サポートへ交信データを移行するには、「エクスポート」メニューより「HAM交信サポート(*.csv)」を選択して下さい。

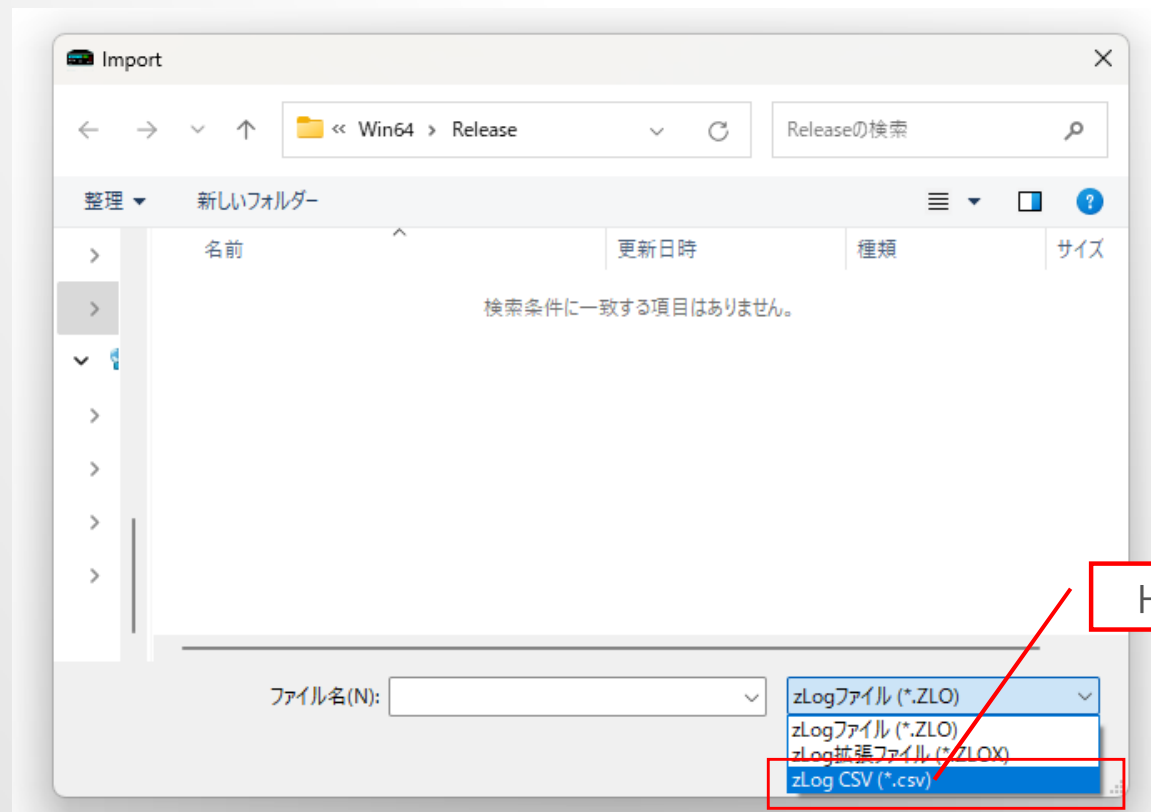


New Feature

#703

ハムサポとのデータ連携（3）

- HAM交信サポートからzLogへ交信データを移行するには、「インポート」メニューより「zLog CSV (*.csv)」を選択して下さい。



Improvement

#709

Packet Cluster接続：接続先毎にコマンドを登録

➤ 接続先毎にコマンドを予め設定できるようにしました。

設定する場合

TELNET settings

設定名: ccc

ホスト名: ccc.jg1vgx.net:7373

ログインID: Port#: 23

改行コード: CR + LF ☐ ローカルエコー

Commands: SET/FILTER DXCTY/PASS JA
SET/FILTER DXCTY/OFF

OK キャンセル

PacketClusterサーバー毎のコマンドを入力しておく(1行1コマンド)

コマンドを使う場合

Cluster

ccc dxc arc

接続先:
ccc.jg1vgx.net:7373
ログインID: <Your callsign>

SET/FILTER DXCTY/PASS JA
SET/FILTER DXCTY/OFF

Connect

☒ 自動ログイン
☒ 自動再接続
☐ スポットを他のバンドへリレー
☐ 受信ログを保持 ☒ BELを無視
☐ 許可/拒否リストを使用
☐ 強制再接続

コンボボックスで選択したコマンドが送信される

BUG FIX

#725

CTRL+Nでバンドスコープに登録時、NEWマルチチェックが正しくない

➤ 現象

ARRL 10mの場合、CTRL+Nでバンドスコープに登録時、交信済みマルチなのにNEWマルチとして赤く表示される。

➤ 原因

ARRL 10mでの北米局のNRはSTATEなのでコールサインからNEW MULTIチェックができない。

そのため、その局がWORKEDかどうかのチェックしかできない。

しかもSPOT情報に正しいモード情報が無いので、常にCWとしてチェックされる。SSBでは正しくWORKEDチェックが行えない。

➤ 対応

ARRL 10mの場合、バンドスコープでNEW MULTIチェックは行わない。またモード無視でのWORKEDチェックとする。

#726

最後のシリアルNOを送りたい

- シリアルNOコンテストで、ロギング後にAGN?等を送られた場合、最後のシリアルNO（ひとつ前のQSO）を再送したい。
- CWの置換マクロとして\$U(\$u)を実装しました。
例えば、F9等に「5NN\$U TU」と登録しておくことで、F9キー押下で対応が可能となります。

#728

SO2R:V2.8のリグ切り替え信号にRX=RIG-A+RIG-Bを追加

- V2.8のリグ切り替え信号利用時、ショートカットキー#137の操作を行うと、DTR:ON/RTS:ONとするオプションを追加する。
解除はショートカットキー#135と#136と#147の操作とする。
- 使用用途は接続するSO2R切替BOXにて、DTR:ON/RTS:ONとした場合、RIG-AとRIG-Bの両方の受信音をヘッドホンに入力する。

#729

サウンドデバイスをリグ毎に設定可能とした（１）

- Voice再生/F2A時、現在選択中のリグに合わせてサウンドデバイスを選択できるようにする。
- これにより、USB接続時にオーディオデバイスが用意されるリグを複数台接続した場合に、リグ切替に合わせてVoice/F2A送信を行うことができます。

Improvement

#729

サウンドデバイスをリグ毎に設定可能とした（２）

➤ ハードウェア設定の「ハードウェア3」「ハードウェア4」タブで設定します。

「ハードウェア4」タブを追加

The screenshot shows the 'Hardware Settings' dialog box with the 'Hardware 4' tab selected. The dialog has tabs for '運用スタイル', 'ハードウェア1', 'ハードウェア2', 'ハードウェア3', and 'ハードウェア4'. The 'Hardware 4' tab is highlighted with a red box. Below the tabs, there are four sections labeled 'RIG-1', 'RIG-2', 'RIG-3', and 'RIG-4'. Each section contains settings for '出力デバイス' (Output Device), '音量' (Volume), and checkboxes for 'F2Aモードを使う' (Use F2A mode), 'データモードを使う' (Use data mode), and 'F2AでPTTを使う' (Use F2A for PTT). The '出力デバイス' is set to 'スピーカー (Realtek(R) Audio)' and the '音量' is set to 100. The 'F2Aモードを使う' checkbox is checked. The 'データモードを使う' checkbox is unchecked. The 'F2AでPTTを使う' checkbox is checked. The '送信前ディレイ(ms)' (Transmit delay) is set to 500 and the '送信後ディレイ(ms)' (Receive delay) is set to 500. At the bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

The screenshot shows the 'Options' dialog box with the 'Hardware 3' tab selected. The dialog has tabs for '運用スタイル', 'ハードウェア1', 'ハードウェア2', 'ハードウェア3', and 'ハードウェア4'. The 'Hardware 3' tab is highlighted with a red box. Below the tabs, there are several sections: 'ICOM CI-Vオプション' (ICOM CI-V options), 'PTT制御' (PTT control), 'USBIF 4CWオプション' (USBIF 4CW options), 'WinKeyerオプション' (WinKeyer options), and '音声再生デバイス' (Voice playback device). The 'ICOM CI-Vオプション' section has 'モード' (Mode) set to 'CI-V Transceive On' and '方法' (Method) set to '周波数とモードを取得' (Get frequency and mode). The 'PTT制御' section has checkboxes for 'CWでPTTを使う' (Use CW for PTT) and 'PHでPTTを使う' (Use PH for PTT), both of which are unchecked. The 'USBIF 4CWオプション' section has a checked checkbox for 'WPM同期' (WPM sync) and an unchecked checkbox for 'Gen.3のマイク入力' (Gen.3 microphone input). The 'WinKeyerオプション' section has a checked checkbox for 'WinKeyerを使う' (Use WinKeyer) and an unchecked checkbox for 'WK 9600bps'. The '音声再生デバイス' section has a checked checkbox for 'リグで再生する' (Play on rig) and a dropdown menu for 'スピーカー (Realtek(R) Audio)'. At the bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

ONの場合、リグ毎のデバイスに出力します

Voice再生用デバイスを選択

#731

パラレルポート対応

- SO2R制御BOX用にパラレルポートに対応してみます。
- 昔ながらのプリンターポート（セントロニクス）が付いたP Cは皆無なので、秋月電子のFT245RL USB-パラレル変換モジュールに対応します。
<https://akizukidenshi.com/catalog/g/g101799/>
- 予定のピンアサインは下記の通りです。
CWとPTTは実装済み。TXnとRXnは仕様調整中です。

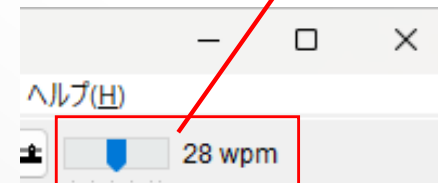
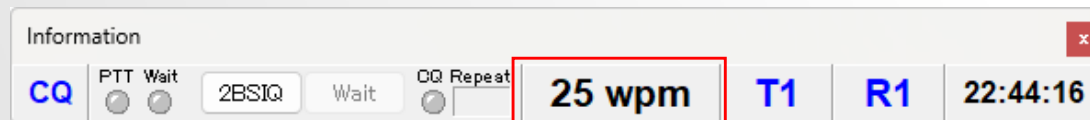
D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7
CW	PTT	TX0	TX1	RX0	RX1	RX2	AF BLEND

- この様に使いたいという希望があれば連絡下さい。

#733

CWのWPM表示の改善 (2.9.3.2)

- ¥+nや¥-nでの電文中WPM変更機能でWPM変更時の動作を改善しました。
- また、¥-nで元のWPMに戻らない不具合を修正しました。



ここは実際のWPMを表示

¥+nの場合は”+”表示
¥-nの場合は”-”表示

#734

[無変換]キーのPTT制御も2BSIQに対応する(2.9.3.2)

- PTTのON/OFFを行う、[無変換]キーの動作を2BSIQに対応しました。
- CW送信中、Voice送信中の場合の動きは下記の通りです。

2BSIQ=OFF	2BSIQ=ON WAIT=ON	2BSIQ=ON WAIT=OFF
送信中止し、PTTをONにする	送信終了を待って、TXをRXと同じに変更してPTTをONにする	送信を中止し、TXをRXと同じに変更してPTTをONにする

New Feature

#736

kHzのQSY機能(2.9.3.2)

- コール欄へ入力するコマンドにkHzでのQSY機能を追加しました。
- FとKCのどちらも使用できます。

入力例

,100.1F又はKC → xx.100.1 ^QSY
,1001F → xx.100.1 ^QSY
,100KC → xx.100.0 ^QSY
,10F → xx.010.0 ^QSY

ここをチェックONで有効

	Band/Freq.	モード	リグ	Command	Edge
#1	433500000	SSB	RIG-P	430S	
#2			None		
#3			None		
#4			None		
#5			None		
#6			None		
#7			None		
#8			None		

☒ kHz QSY コマンドを使用する (F/KC)

クイックMemo

#101		#107	
#102		#108	
#106			

OK キャンセル

New Feature

#737

エンティティ情報表示 (1) (2.9.3.3)(2.9.3.4)

- DXコンテスト用に相手局のエンティティ情報を表示可能としました。
- 自局の日の出／日没時刻は今後対応予定です。
- 表示について何かアイデアありましたらお寄せ下さい。
- DXPedimモードでも方位表示可能としました。(2.9.3.4)

The screenshot shows a software window titled "Entity information" with a close button (X) in the top right corner. The window is divided into several sections:

- Header:** A grey bar with the text "France".
- Compass Rose:** A circular compass with "N" (North), "S" (South), "E" (East), and "W" (West) labels. A black arrow points towards the North-Northwest. The number "331" is displayed in the center. Below the compass, the text "N46:00:00" and "E2:00:00" is visible, along with "9,877Km".
- Entity Information Panel:** A vertical panel on the right side containing the following fields:
 - Entity:** A box containing the letter "F".
 - CQ Zone:** A box containing the number "14".
 - ITU Zone:** A box containing the number "27".
 - Continent:** A box containing the letters "EU".
- Bottom Section:** A section at the bottom containing:
 - Sunrise:** A box containing "03/07 15:19".
 - Sunset:** A box containing "03/08 02:47".
 - Call Sign:** A large box on the right containing "331".

Red boxes and arrows highlight specific features:

- A red box labeled "自局から相手局への方向表示" (Direction from local station to remote station) points to the compass rose.
- A red box labeled "Entity情報" (Entity information) points to the Entity, CQ Zone, ITU Zone, and Continent fields.
- A red box labeled "相手局の日の出/日没時刻(UTC)" (Remote station's sunrise/sunset time (UTC)) points to the Sunrise and Sunset fields.

New Feature

#737

エンティティ情報表示（2）(2.9.3.3)

- 自局位置は運用設定で設定します。
- 初期値は36.4/-138.38となっています。(CTY.DATの値)

運用設定

各種設定 カテゴリー CW/RTTY ボイスメモリ その他 クイック機能

運用可能なバンドと電力

<input checked="" type="checkbox"/> 1.9 MHz	H	<input checked="" type="checkbox"/> 28 MHz	H
<input checked="" type="checkbox"/> 3.5 MHz	H	<input checked="" type="checkbox"/> 50 MHz	H
<input checked="" type="checkbox"/> 7 MHz	H	<input checked="" type="checkbox"/> 144 MHz	H
<input checked="" type="checkbox"/> 10 MHz	H	<input checked="" type="checkbox"/> 430 MHz	H
<input checked="" type="checkbox"/> 14 MHz	H	<input checked="" type="checkbox"/> 1200 MHz	H
<input checked="" type="checkbox"/> 18 MHz	H	<input checked="" type="checkbox"/> 2400 MHz	H
<input checked="" type="checkbox"/> 21 MHz	H	<input checked="" type="checkbox"/> 5600 MHz	H
<input checked="" type="checkbox"/> 24 MHz	H	<input checked="" type="checkbox"/> 10 G & up	H

自局の位置

緯度 36.4

経度 -138.38

☐ Jモード

☒ コンテスト期間を使う

☐ 期間外の交信もログ出力

☐ 保存はCW非送信時

自動保存 3 QSO毎

☐ スーパーチェックよりナンバー自動入力

☒ 他のバンドで交換したナンバーを自動入力

☐ 長い日付で表示する

QSL初期値

☒ なし

☐ PSE QSL

☐ NO QSL

QSYアシスト

☒ なし

☐ 時間制限 10 分

☐ QSY回数 8 回/時間

OK キャンセル

自局の緯度経度
10進形式(degrees)
CTY.DATに合わせて南緯と
東経をマイナスとします。

#739

PacketClusterからのスポット受信仕様変更(2.9.3.4)

- 今まではコンテストで使用しないバンドのスポット情報は破棄していましたが、バンドスコープの充実により破棄する意味は失われているので、全てのスポット情報を受信するように変更しました。

#742

ADIFインポート機能の実装 (2.9.3.4)

- 他ソフトとの相互運用性を高めるために、ADIFのインポート機能を実装しました。
- 全てのソフト／コンテストでの組み合わせでテストを行ったわけではありませんので、今後支障がある場合はその都度対応していきます。

#743

TS-890でのFIX Edge選択機能対応 (2.9.3.4)

- TS-890のバンドスコープ範囲選択コマンド (BS5) に対応しました。
- これにより、リグ選択が「TS-590/890」でしたが、「TS-590」「TS-890」に分かれました。
- TS-990はBS5コマンドの動きが異なり、バンドスコープの上限／下限周波数設定のため対応しません。

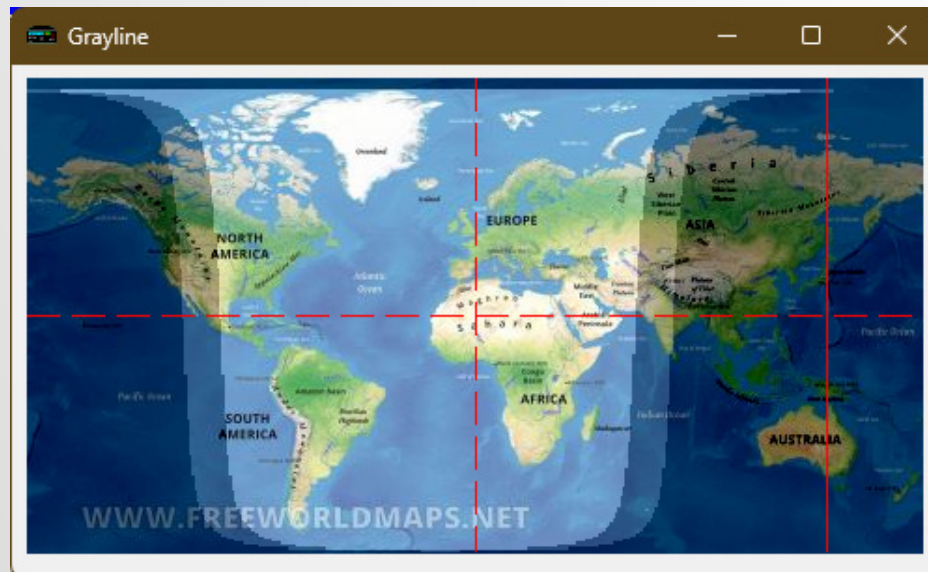
#746

Additional I/OプラグインでのQSOID問題 (2.9.3.5)

- プラグインのAdditional I/Oでのインポート時、QSOIDにいつも同じ値が設定されるので、複数ファイルのマージを行うと同じQSOIDのQSOが入力されない。
- インポート後にQSOIDを振り直すようにしました。

#747 Graylineマップ (2.9.3.5)

- DXコンテストで必要なGraylineマップを作りました。
- 薄く暗いところはsunrise/sunsetの前30分～後30分(計 1 時間)です。いわゆるGraylineです。
- 点線は子午線と赤道を表しています。実線は自局の経度です。
- 地図とのマッピングは大体ですので、正確ではありません。
- 地図はfreeworldmapsの素材を使用しました。



BUG FIX

その他不具合修正一覧